

(報告事項)

平成 27 年 5 月 26 日

新札幌放送会館の整備方針・概要について

新札幌放送会館の移転整備にむけた用地取得について、平成 25 年 11 月に、NHK と札幌市は、現札幌放送会館敷地と札幌市が所有するリンケージプラザ等跡地（札幌市中央区北 1 条西 9 丁目 1-5）との交換に向けた基本合意書を締結した。市有地の更地化後、同跡地を札幌市より借り受け、新札幌放送会館の整備を行い、その後、現札幌放送会館を解体撤去し、平成 33 年度を目途に用地交換を行うべく協議を進めている。

同跡地に新札幌放送会館を整備するため、道内局を束ねる北海道のキーステーションとして、災害に強く、地域に親しまれる放送局サービスを展開できる機能や規模について具体的な検討を重ねてきた。

このたび、整備方針・概要がまとまったため、会館建設に向けて着手する。

整備方針・概要

1 基本コンセプト

(1) いかなる事態にも対応し、安全・安心を道民に届ける会館

大規模災害他いかなる状況においても、迅速かつ的確に緊急報道や防災・減災情報を継続して発信できるなど、災害に強い建物とインフラ機能を有し、地域から信頼される安全・安心を守る放送局を目指す。

(2) NHK北海道のキーステーションとして相応しい機能を有する会館

北海道のキーステーションとして道内7局を束ね、地域向け情報を全道にきめ細かく提供するとともに、北海道の多様な情報を全国、海外に発信するなど、地域の人々の期待に応える質の高い放送サービスを提供する機能と規模を有する会館を目指す。

(3) 将来の新サービスや業務の変化にもフレキシブルに対応できる会館

8K時代の新たなサービス展開や放送設備の更新、災害発生時のロジスペースなどにもフレキシブルに対応できる、最新のITを活用した居室環境を備えた会館とする。

(4) 地域文化の発展に貢献し、道民とつながる会館

地域の人々が気軽に集う、明るく開放的な視聴者ゾーンを整備するとともに、さまざまな公開放送やイベントに対応できる設備や機能を整備し、地域とのつながりをより深め、地域文化の発展に貢献する会館を目指す。

(5) 人と環境にやさしく“北海道らしさ”を活かした会館

バリアフリーなど来館者や働く人々に配慮した機能を有するとともに、環境にやさしい省エネ・システムを積極的に導入するなど、自然と調和した環境で、温かみと安らぎが感じられる“北海道らしさ”を表現した会館とする。

(6) 営業コールセンターの新設

新たな営業コールセンターを新札幌放送会館内に整備し、4か所ある全国の営業コールセンターの再編を行う。札幌コールセンターでは、テレマ対策を行うなど、訪問によらない契約収納活動を推進するとともに、大都市圏を中心とした対策の基幹コールセンターとして位置づける。

2 新会館の概要

区分	新会館	現会館
(1)所在地	札幌市中央区北1条西9丁目1-5	札幌市中央区大通西1-1
(2)敷地面積	10,372.87㎡	4,019.12㎡
(3)延床面積	本屋：23,990㎡ (営業コールセンター2,710㎡含む) 別棟：3,480㎡(駐車場・倉庫)	16,358㎡ (分館2,362㎡除く)
(4)階数	本屋：地上6～7階(免震構造) 別棟：地上2～3階(非免震構造)	地上4階、地下2階
(5)運用開始年度	平成32年度(予定)	昭和34年度
(6)建設費	建物：122億円程度 (設計監理費、杭工事費、現会館解体撤去費除く) 放送設備：70億円程度 (経常事項の更新経費および道内運行装置の集約分を含む)	—
(7)建設方式	単独建設	単独建設

○ 新会館移転用地位置図



3 会館の主要機能

(1) 防災・機能強化

- ① 本屋は免震構造を採用する。
- ② 浸水被害を回避するため電源設備を上階に設置すると共に、2系統受電、自家発電オイルタンク（100時間運転可能）、自家発電装置（2台）、車両用燃料備蓄設備（軽油1,000リットル程度）の整備を行う。

(2) 放送センター機能および制作機能

- ① 放送センターフロアに、ニュースセンター（NC）と2つのNCスタジオ、2つのRスタジオ、報道・番組制作の各セクションをワンフロアに配置し、効率的・機動的な業務の流れを実現する。
- ② エントランスフロアにT-1スタジオと公開スタジオスペースを隣接して配置し、公開放送、ステージイベント、選挙開票速報などフレキシブルに活用する。

(3) 視聴者対応機能

2層吹き抜けのエントランスホールで来館者を迎え、公共放送ブース、展示ギャラリー、視聴者対応スペース等からなる視聴者ゾーンに案内する機能を整備し、地域の視聴者へのサービスを充実・強化する。

(4) 鉄塔

放送会館と各放送所、FPU基地局をつなぐ無線回線の構築やFM中継局、非常用放送設備を整備するため、地上高105m程度の鉄塔を設ける。

(5) その他

- ① 訪問によらない契約収納活動等を推進するため、営業コールセンターを設置する。
- ② 道内業務の集約や寒冷地等の特殊事情により必要となる屋内駐車場や資材倉庫について、経費の増加を抑制しつつ効率的に整備するため、非免震構造の別棟を設置する。
- ③ エネルギーを有効活用するシステムの導入など、地球環境に配慮しつつ、ランニングコスト削減にも有効な設備を積極的に取り入れる。

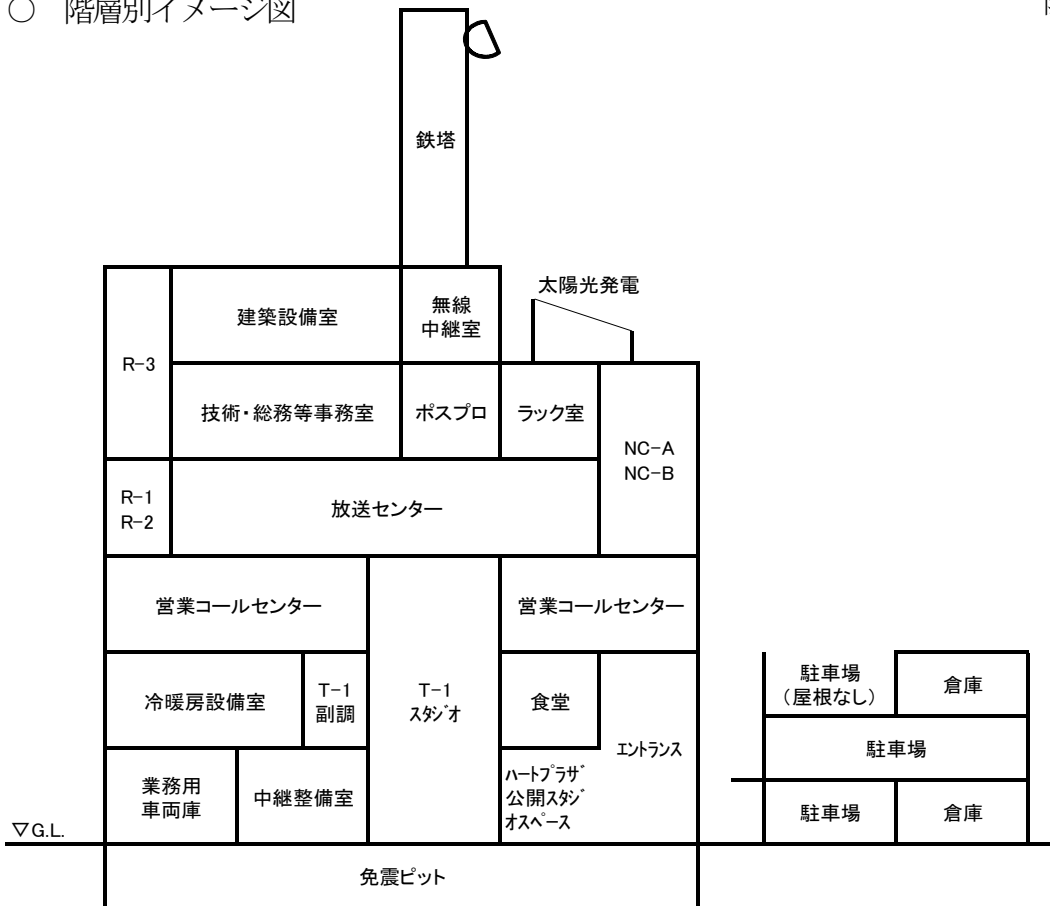
4 主な機能と面積

(単位:㎡)

区分	主な機能	面積		現会館 面積*
		本屋	別棟 駐車場・倉庫	
放送機能室	<ul style="list-style-type: none"> テレビスタジオ 公開スタジオスペース NCスタジオ×2 ラジオスタジオ×3 放送センター、ポスプロ 	7,169	110	4,660
視聴者 サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ハートプラザ 公共放送ブース、展示ギャラリー 	600	30	239
一般室	<ul style="list-style-type: none"> 局長、副局長室 各部事務室、会議室 食堂、厚生関係室 車両庫、倉庫 	4,131 (内車両庫 420)	3,195 (内車両庫 1,920)	5,506 (内車両庫 1,725)
コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> 営業コールセンター 	2,710	0	0
建築設備室	<ul style="list-style-type: none"> 電気関係室、空調機械室 	3,840	0	2,625
共用スペース	<ul style="list-style-type: none"> エントランス、廊下、階段、トイレ 	5,540	145	3,328
合計		23,990	3,480	16,358

※分館 2,362㎡
除く

○ 階層別イメージ図



本屋(免震構造)

5/6

別棟(非免震構造)

5 スケジュール (予定)

年 度	NHK			(参考) 札幌市
	経営 委員会	建 物	放送設備	
平成 25年度	【11月 説明】 NHKと札幌市による基本合意書締結			
26年度		基本計画書 作成		
27年度	【5月 報告】	整備方針・概要決定	設計者選定 基本設計	
28年度		実施設計		リンケージプラザ 解体・撤去 更地完了
29年度	【議 決】 土地賃貸借契約（～土地交換まで）			
30年度		建築工事	仕様検討	
31年度			設計・製作	
32年度			放送設備工事	
32年度		発注	運用開始	残置設備撤去
33年度		現札幌会館 解体・撤去		
33年度	【議 決】 土地交換			